

令和5年度 芦屋市健康増進・食育推進計画推進委員会（書面開催） 回答書

※ご意見を頂いた委員のみ記載しています。

資料に関するご意見・ご質問等について			
発言者	分類	内容	回答
小西委員	ご意見	(P23、24)：受診件数の年次推移は確かに、減少傾向かと思いますが、受診件数にかかる、構成割合(H29-R4)でみると、糖尿病と神経症性及びストレス関連障害が増加しているように思いますがいかがでしょうか。	受診件数に関しては、増減が見られますので、「減少しています」の表現を削除しました。
		(P27)：他のデータは市・県・国比較となっておりますが、この部分に、県データも入れてはどうか。	ご指摘の県データについては、追加しました。
		(P28)：他の項目は事実のみの記載となっておりますが、この項目(自殺)だけ、解説の記載があります。この部分は、後ろの章にうつされた方が良いと思いますがいかがですか？また、「同居人による・・・」という記載ですが、従前から、同居人のいる高齢者の自殺者が多いことは知られていて、関係性の問題も記載して頂きたい。	現状のみの記載に変更しました。
		(P40)：健診の問診項目にアルコールの設問等は、入っているのでしょうか。また、入っており、気になる方には栄養指導等の対象としているのでしょうか？単に、普及啓発だけでは、なかなかこの問題は解決しないように思います。健診項目の工夫等も必要ではないでしょうか。	健診の問診項目にアルコールの設問(飲酒頻度、飲酒量)は含まれております。保健指導での活用方法を検討したいと思っております。
		(P42)：「(3)こころの」の一行目。「図ってきたとともに」「図るとともに」等への修正が必要かと思えます。	修正しました。
		(P46)：節目健診の対象年齢に60歳を追加されたようですが、是非、歯や歯ぐきの健康、噛む力・飲み込む力を維持し、誤嚥性肺炎等の疾病予防やオーラルフレイル予防を考えるのであれば、今後の施策に後期高齢の健診等も追加して頂きたいです。	高齢者における口腔の健康づくりにつきましては、歯の無料相談と健診などを通じて取り組みます。
東委員	ご意見	(P35.36)：P35では、1歳6か月児のかかりつけの小児科を持つ親の割合が増加していると記載されていますが、P36の表をみると、減少しているように思います。	減少していますので、変更しました。
東委員	ご意見	P45⑤芦屋市自殺者数について 目標値はやはり"0"ではないかと思えます。 引き続きご検討をお願いしたいと思います。	自殺対策の目標として、「0(ゼロ)」を目指すこととしました。
多田委員	ご意見	単身世帯の増加が気になる。新しい文化だと思うがフォロー体制も強化するべき。 出生数は国よりも自治体の方が対策をとりやすい。すぐに始めるべき。	少子化対策として、次世代の子どもたちが健やかに生まれ、育成されていく環境を社会全体として整える取組が求められていますので、他機関と連携しながら、継続して対策を進めてまいります。
		医療の負担は国を傾かせる重大事。やりすぎてもいけない。	一次予防に取り組み、疾病を予防することが、医療費削減につながると思えます。引き続き、次期第4次計画においても、健康寿命延伸に向けた健康づくりを推進してまいります。
		自殺は豊かさで防げる。底辺の生活レベルを上げよう。	自己肯定感や信頼できる人間関係、危機回避能力等の「生きることの促進要因」より失業や多重債務、生活困窮等の「生きることの阻害要因」が上回った時に、自殺リスクが高まるとされています。まずは、「生きることの促進要因」を増やす取組を進め、自殺リスクを低下させていくことが重要と考えます。次期第4次計画においても、この取組を推進してまいります。
		ひもじさほど心に傷を残すものはない。食の満足度は大切。	喫煙しない人が増えてきておりますが、引き続き禁煙や受動喫煙防止に取り組みます。
溝井委員	ご意見	核家族が増加 中でも母子家庭1,152増加、父子家庭92の為、一人っ子や子供だけの食事・・・問題提起 単身世帯5,738増加、又、高齢者単身世帯の増加・・・現状対策は？	孤食につきましては、課題であると思えます。次期計画の第4次計画の目標指標で、アンケートの都合上20歳以上の目標設定となっておりますが、「家族や友人と楽しく食事をする人の割合の増加」を掲げてこれからの取組みと考えております。 また、高齢者単身世帯に対する対策としては、高齢者の保健事業と一体的実施事業の中で、市内の集う場を活用し、フレイル予防教室を行うなど、対策に取り組んでおります。
		死亡状況 死亡年齢 肺炎(3位)のデータがない？	国の三大死因別死亡率を参考としているため、肺炎の死亡率については掲載しておりません。
		前立腺がん検診？口腔がん検診は？	前立腺がん検診、口腔がん検診ともに、国が示している対策型検診に現状含まれていないため、今後の国の動向について確認していきます。
		人口推移13歳まで減少 何が理由考えられるか	出生数の減少が考えられます。

<p>小山委員</p>	<p>ご意見</p>	<p>芦屋市健康増進・食育推進計画に関するヒアリングのまとめ資料につきまして、各団体の活動の課題がよく分かりとても参考になりました。こちらばかりがいろいろな取組みを考えても、参加する方々にそれが受け入れられているか、もっと周知啓発をしていく必要性を感じます。</p>	<p>今後も、普及啓発も含め、各関係団体との連携体制を保ちながら、推進していきます。</p>
<p>中西委員</p>	<p>ご意見</p>	<p>P26(6. 自殺の状況)(1)～(5)自殺に関する統計資料がまとめられている。この資料から、芦屋市の特性や動機など分析されているので、分析に基づき施策を実施してほしい。また、この項目の最後に、自殺防止の取組(ゲートキーパー研修その他啓発活動)について、まとめて掲載してほしい。(できれば計画の指標になればよい)また、原因・動機で健康問題がとて多かったので、これに関する取組についても掲載したほうがよい。</p>	<p>自殺防止対策の「気づき」「つなげる」ことを推進していくための取組として、「市内のゲートキーパー研修受講者数」の増加を、目標指標に追加しました。健康問題については全ての取組につながっていくため、継続して「自殺対策」の視点を持ちながら取り組んでまいります。</p>